

QSK つむぎ通信

2016・NO.116

児童デイサービス事業

児童デイサービスつむぎの里新築工事始まる!!

8月完成・10月開所予定

昨年10月、平成28年度社会福祉施設等施設整備費国庫補助申請をしました。当初、国の予算がない中、協議に上がることで自体大変厳しい状況でした。しかし、長年つむぎの里で行ってきた児童の療育実績と、圏域に毎日長時間通える通園施設がないことや近隣住民の皆様のご理解、ご協力に加え関係機関のご尽力のおかげで平成27年度補正予算協議（3月末までの契約、着工が条件）に上がり3月中旬に国庫補助金が決定しました。建設予定地は旧本館跡地で児童プレイルーム家屋の横になります。床面積294.10㎡（約89坪）で8月末竣工予定です。

4月5日好天に恵まれ、夢ポケットのメンバーさんが見守る中、厳かにつむぎの里の発展と工事の安全を祈願し地鎮祭が執り行われました。

10月開所予定の児童事業は就学前のお子様の増員を図り、多機能型児童発達支援事業・放課後等デイサービス事業を行っていきます。

これからもつむぎの里が大好きで毎日通ってきてくれる子供達や保護者の皆様に心を寄せて、心を込めてより良い事業を展開していきたいと思っています。

今まで支えて下さった保護者の皆様、関係機関の皆様、地域の皆様に心より感謝申し上げますとともにこれからも尚一層ご支援くださいますようお願い申し上げます。

児童デイサービスつむぎの里

管理者 山下めぐみ

社会福祉法人鶴林福社会 つむぎの里 平成28年度 事業計画 (抜粋)

国庫補助事業により、児童事業は新たな展開へ

平成28年度の採択をめざした平成28年度国庫補助協議は、平成27年度補正予算の前倒し執行に係り、いよいよ平成28年度完成を目指して、動き始めました。発足時以来の願いだった就学前のお子さんを主に対象とした児童発達支援事業の本格的な展開になります。8月末竣工、開所の行事を経て、10月より実質の運営を開始する予定です。児童事業用の施設が完成すれば、つむぎの里で行う事業用施設については、環境の整備とともに耐震化、防災の取り組みが整います。

利用者の増員にとともに、新しい活動の可能性を目指します

生活介護事業は、利用者の増加により、新たに喫茶軽食の営業許可をめざし、新しい活動の可能性に挑戦します。利用者にとって、ゆとりある活動スペースの確保と活動内容のさらなる充実をめざします。居宅介護事業は、利用者の日常生活支援や社会参加支援への役割を果たすため、より一層の研修を行います。また、介護保険への統合を前提とした国による介護保険事業への参入促進が検討されており、注意が必要です。

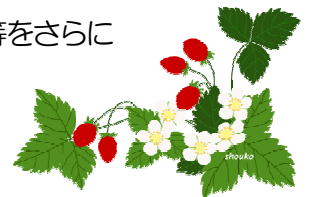
グループホーム建設計画の継続と消防設備

グループホーム事業は、平成27年度に計画していた定員の増員と、新しい住居の建設を国庫補助金を申請して建設することをめざしていましたが、直轄圏域では申請は認められず、計画を白紙にもどしました。しかし、消防法の改正に基づく消防設備猶予期間(平成30年度)を前に、消防設備、耐震設備については、情報を収集しながら対応を検討し、将来にわたる暮らしの場の確保をめざします。

社会福祉法人の果たす役割

法人としては、社会・経済状況及び福祉制度改革の動向、社会福祉法人の制度改革等をさらに注視し、引き続き、次の時代における社会福祉経営に対応できる法人本部の機能を強化するために、人材の確保を図ります。

法人事務局 瀬尾



障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律が施行されます

障害を理由とする差別がなくなることをすすめ、すべての国民が、お互いに人格と個性を尊重し合う社会の実現をめざして、平成28年4月1日より施行されました。

	不当な差別的な取扱い	障害者への合理的配慮
国の行政機関・地方公共団体等	×禁止 不当な差別的取扱いが禁止されます	法的義務 障害者に対し、合理的な配慮を行わなければなりません。
民間事業者	×禁止 不当な差別的取扱いが禁止されます	努力義務 障害者に対し、合理的な配慮を行うよう努めなければなりません。

「合理的配慮」とは

その事務や事業を行うときに、障害者から社会的な障壁(問題)をとりのぞくことを必要としているという申し出があり、社会的な障壁(問題)をとりのぞくために重い負担がかからない場合は、障害の状況に応じて、必要で合理的な配慮を行うこと。たとえば、知的障害者には、

- ・ゆっくりと短いことばや文章でわかりやすく話しかける。
- ・書類の記入方法などを本人の目の前でしめす
- ・漢字を少なくして、ふりがなをつける・・・などです。(障害者福祉情報142より引用)

夢ポケット

生活介護事業

平成28年度、夢ポケットに3月高等部を卒業した木下誠也さん、末實南さんのフレッシュな2名が仲間に加わりました。

今年もメンバーさん達とスタッフ全員が力を合わせ、美味しい商品の製造はもちろんですが、外出日にはみんなで行き先や昼食を考えてリフレッシュしていきます。夢ポケットをよろしくお願いします。(柴田)



祝 28年度入所式

4月1日今年度つむぎの里へ入所されました、木下誠也さん、末實南さんの入所式が行われました。

施設長の瀬尾より会長からの祝辞の代読、辞令交付があり、後援会会長の津田氏より祝辞をいただきました。つむぎの里のメンバーさんからお祝いの言葉やプレゼントがあり南さんも自分の気持ちをしっかり伝える事が出来、明るく和やかな雰囲気です式を終了しました。

これから仲間といっしょにお仕事にレクレーションに楽しく過ごしてくれることを願っています。



居宅介護・地域支援事業

28年度が始まりました。学校を卒業するなどして新しい生活をスタートされた利用者さんもいます。まだ慣れてなくて、不安なことも多いと思いますが少しでも日常生活、ガイドヘルプのお手伝いができればと思っています。

日常生活のお手伝いをする身体介護、通院介護、重度訪問、ガイドヘルプの移動支援、行動援護、同行援護、緊急時の日中一時支援をできるかぎりご要望におこたえできるようにがんばっていきたく思います

<ヘルパー日誌>

移動介護を利用して3月21日 花公園へ行ってきました。開園20周年のイベントが行われていて入場口で紅白のおもちをいただきました (^)/

広場には人力車が来ていて、無料で乗ることができました。利用者さんは少し怖いようでしたが楽しい思い出になったと思います。つくしや菜の花やいろんな花が咲いていて春を感じながらお弁当を食べました^o^

(前田)

サンフラワー

～生活介護事業～ つむぎの里バスハイク in 志賀島休暇村

桜の花びらも風に舞い、暖かい気候になってきました。今年度もよろしくお願い致します。さて、先月、夢ポケット・きらら・サンフラワーのメンバーで志賀島の休暇村へ行ってきました！天気にも恵まれ、おいしい昼食と、さわやかな海の風をみんなで満喫しました。帰りのバスでは、ビンゴ大会などもして、最後まで大盛り上がり！夢ポケット・きらら・サンフラワーのみんなで、楽しい時間を過ごす事ができました。

今年度も、グループの枠を超えてみんなで楽しめる活動や、季節を感じられる外出活動などを増やしていきたいと思います。今後ともサンフラワーをよろしくお願い致します。(伊藤)



なののはな荘・クローバーハウス シャンリバー

～共同生活援助事業～ (グループホーム)

なののはな荘は、この春で65才以上の入居者が3名になりました。65才問題がクローズアップされる中、計画相談事業所や福祉課など関係機関のご理解とご尽力で、みなさん無事に障害福祉サービスの利用継続ができひと安心してあります。なののはな荘は何歳まで利用できるのかとのおたずねが、ときどきにありますが、望まれる間いつまでも・・・とお答えしています。

クローバーハウス、シャンリバーの入居者も、昨年一般就労10周年を表彰された方をはじめ、みなさん試行錯誤しながら、一般の会社、就労A型、B型、地域活動センター、生活介護事業所などそれぞれ、自分に合った働き方や暮らし方を選んでこられました。世話人は、向かい合って顔を見て、ゆっくり話を伺い、何を伝えたいのか理解して支援ができるように、心がけています。

今年度も、健康管理・病気・けがなどに気をつけて毎日楽しく、暮らし、働かれるような暖かい家庭的なホームをめざしてがんばります。

(瀬尾・浅野)



あそびむし

～児童デイサービス事業～

若葉が芽吹く季節となり、新生活をスタートさせた方も多くいらっしゃるのではないのでしょうか？あそびむしクラスでも、卒業・進級を迎え、皆また一つお兄さんお姉さんになりどこか誇らしげです。春休み中はクッキングにバイキング、おもちゃ図書館、畑ダム散策と活動を満喫していた子ども達♪一年前はうまく投げられなかったフリスビーを上手に投げられるようになった子、ケンケン跳びが上手になった子、次の活動を予測して椅子を準備する子、下級生にやり方を教えてあげる子等々…端々でその成長ぶりを感じさせる場面がありました。新年度は児童新館の建設に伴い、飛躍の一年となりそうです。子ども達が毎日より楽しく安心して過ごせるようスタッフも一丸となって、子どもと共に成長していきたいと思えます。今年度もどうぞよろしくお願い致します！4月から新しく小田沙織さんがスタッフに入りました。フレッシュで優しい先生です♪どうぞよろしくお願い致します。

(児童・前田祐)



熊本大震災のお見舞いを申し上げます

熊本大地震で被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。いまだに続く余震に身体も心も疲れ切っておられることだと思います。どうぞ希望を失わず、心を倒すことがありませんように。そして一日も早い復興を切に願っております。

つむぎの里からは「きょうされん」を通し不足している食料、トイレトペーパーを送りました。

つむぎの里職員体制



会長 山下敏夫



施設長 瀬尾久美子



副施設長 山下めぐみ



事務 松隈尚美

生活介護スタッフ



管理者 瀬尾久美子



岡松輝彦
サービス管理責任者



生活支援員 柴田翔



生活支援員 川邊結美



生活支援員 水間亜由美



生活支援員 伊藤彩



看護師 常友ちどり



看護師 花元みゆき



田代由美
生活支援員 菓子製造



生活支援員 野澤香織



池田まゆみ
生活支援員・給食調理員



生活支援員 大村正幸

福祉サービススタッフ



山下めぐみ
管理者・児童発達支援管理責任者



保育士 稲田政子



保育士 松林恭子



保育士 笹栗佳代



保育士 富永まゆみ



保育士 前田祐華



保育士 小田沙織



講師
臨床心理士 鎌田容子

ケル-ホ-ル-ル・ケル-ホ-ル-ルスタッフ



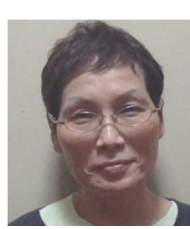
管理者 前田昌美



岡松輝彦
サービス管理責任者



世話人 浅野ゆかり



世話人 小石厚子



世話人 井上和子



世話人 藤田廣子



生活支援員 有吉未来

居宅介護スタッフ



森富友紀
サービス提供責任者



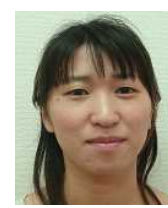
居宅介護員 吉武幸子



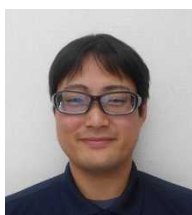
居宅介護員 高辻光代



居宅介護員 宮原邦子



居宅介護員 牛久幸子



居宅介護員 柴田翔



居宅介護員 伊藤彩



運転手 野見山正三

事務局だより

ご寄付・ご寄贈ありがとうございました

27年度 つむぎの里後援会様

28年度 鐘江徳光様



(平成28年4月15日現在) (順不同)

後援会だより

2月4日(木)につむぎの里山下会長による料理教室が開かれました。エビチリと麻婆豆腐と紅茶ゼリーを作りましたが、下処理が丁寧で本格的なのに簡単にできる中華料理で皆さん、出来上がりに大満足!!おいしくいただきました。

つむぎの里後援会定期総会の案内

日時：平成28年4月28日(木) 10:00～

場所：つむぎの里プレイルーム2

- ① 27年度事業報告及び27年度決算報告の承認
- ② 役員選出
- ③ 28年度事業計画および28年度予算案の承認
- ④ 交流会

お知らせ

つむぎ通信に会費払込取扱票を添付していましたが、本紙の注文用又は返信用ではないとの事で日本郵便(株)より改善指導がありました。その為役員会で協議を重ねた結果、個別に払込取扱票を送付することに決定しました。

引き続き、是非会員になってつむぎの里を支援して下さいますようお願い申し上げます。

つむぎの里後援会事務局 山下めぐみ

後援会の継続・ご入会ありがとうございました

27年度入会者

正会員 橋本由美子様 添田耀子様 田代文也様 藤村和江様

賛助会員 添田恭弘様 中村幸代様 小野政江様 **カンパ** 添田恭弘様

28年度入会者

正会員 高辻光代様 永易めぐみ様 **賛助会員** 福本裕子様

(平成28年4月15日現在) (順不同)

編集 社会福祉法人 鶴林福祉会 つむぎの里

〒822-0006 福岡県直方市上境1467 《TEL 0949-28-2367 FAX 0949-28-2301》

年正会員費 6000円 年賛助会員費 3000円 (いずれも年間購読料を含む) 定価1000円

発行 九州障害者定期刊行物協会

〒810-0001 福岡市中央区天神1-16-1 毎日福岡会館7F 《TEL 092-753-9722・FAX 092-753-9723》